

DIGITAL VIDEO CAMERA

デジタルビデオカメラ

DS-DV1200BK/SV/WH



取扱説明書

本製品の使用にあたり、ご注意頂きたい事項

SD カードは別途ご用意ください

本製品に SD 及び MMC メディアは付属しません。別途ご用意ください。

使い始める前に現在日時の設定をしてください → P8

カメラ本体の時計と現在日時をあわせませす。日時の設定を行わないと、撮影した画像の作成日時を正しく記録することができません。お使い頂く前に必ず日時設定を行なってください。

充電や撮影枚数について

本書に記載の充電や撮影可能枚数、及び本体メモリへの記録量等は使用状況により差がありますので目安とお考えください。

フラッシュ発光機能はありません

目次

はじめに	P02
1. 各部名称	P05
本体ボタン機能や端子名等での紹介	
2. 撮影準備	P06
充電やメディア挿入、日付／時刻設定等	
3. 動画の撮影	P09
動画の撮影と各種設定	
4. 静止画の撮影	P15
静止画の撮影と各種設定	
5. 撮影データの確認	P19
撮影したデータの再生方法と各種設定	
6. PC 接続とデータ保存	P23
PC につないだデータ転送	
7. テレビとの接続	P24
テレビ画面への出力	
8. 故障かな？ と思ったら	P26
不具合時の対処法	
製品仕様	P32
お問い合わせ	P32

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかをよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- ・ デジタルビデオカメラ
- ・ USB ケーブル
(形状：オス A ～オス miniB5 ピン)
- ・ AV ケーブル
- ・ 電源アダプタ
- ・ 取扱説明書
- ・ クイックガイド
- ・ 保証書

※ HDMI 接続用のケーブルは付属しません。必要に応じて別途ご用意ください。

ご使用上の注意

- ・ ご自身で修理や分解をしないでください。高電圧な部品もあり大変危険です。また、強い力をかけたり重い物を置いたりしないでください。
- ・ 本製品は防水仕様ではありません。雨中やプールサイド等、湿度の高い場所で使用しないでください。また、濡れた手で触れないでください。水気によるショートや、感電のおそれがあります。
- ・ 各種配線は本書に従い、正しく配線を行ってください。正規の配線が行われないと故障や損傷、あるいは身体に危険が及ぶおそれがあります。
- ・ お手入れは必ず電源を切り、ケーブルを外して行なってください。乾いた柔らかい布で手入れを行い、アルコール、シンナー等は使用しないでください。
- ・ 寒い場所から暖かい場所に移動した時、内部で結露を生じる場合があります。その場合は 1、2 時間様子を見て、周辺環境に馴染ませてからお使いください。また、対策として移動時は保護用のケースに入れて持ち歩くことをお勧めします。
- ・ 不安定、ホコリが多い、高温多湿、通気が悪い、直射日光にあたる場所に置き去りにしないでください。また、車内への

置き去りもご遠慮ください。

- ・ 液晶画面は精密部品です。稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これらは故障ではありません。
- ・ レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。またレンズやボタンのすき間から液体や砂、異物等が入らないようにお気をつけください。
- ・ 大切な撮影（旅行や結婚式等）の前には必ず試し撮りをして、正しく撮影されることを確かめてください。万が一機器の不具合により撮影の機会を逃してしまった場合でも、弊社ではその機会や損失を保証することはできません。

メディアの挿入、電源接続の注意

- ・ 直接挿入が可能なメディアは SD/MMC です。これ以外の異物の挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。また、メディアやケーブルを接続する場合は端子の向きを確認した上で挿入してください。間違った向きで無理矢理挿入すると端子部が破損したり、メディアが取り外せなくなったりします。
- ・ 万が一故障や不具合が発生し、メディアや本体メモリのデータや機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
- ・ 大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくはは認識できない場合があります。
- ・ 本体メモリは一部システム領域として使

用されるため、全てをデータ保存にあてることができません。保存枚数や時間は条件により異なりますので、目安とお考えください。また、本体メモリ内のデータは故障等による損失に備え、定期的にバックアップをとってお使いください。

電源供給に関する注意

- ・ 電源アダプタは付属のもの以外は使用しないでください。また、電源アダプタの電圧が家庭用コンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100V）。
- ・ 電源アダプタは十分注意し、適切に配線してください。ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり故障の原因となります。配線が切れかかったケーブルは使用しないでください。ショートによる火災の原因になります。
- ・ PC と接続して電源供給させる場合、PC 電源がオフになっている時や、休止状態の時は充電が行われません。

著作権についての注意

- ・ 撮影データは個人として楽しむ他は著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。なお、実演や興業、展示物等の中には個人として楽しむ等の目的があっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

バッテリーについて

- ・お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、バッテリー残量が著しく低下している時は動作が不安定になります。この場合は充電を完了させてからご使用ください。
- ・バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。
- ・ビデオカメラやバッテリーが異常に熱を持つ、異臭や発煙、液漏れ、膨張した場合は直ちに使用を中断し、弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
- ・電源コンセントに差しっ放しにする等の過充電を行うと、故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合がありますのでご注意ください。バッテリーは消耗品です。使い続けることで撮影可能な時間は徐々に短くなる傾向にあります。
- ・本製品の廃棄はお住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

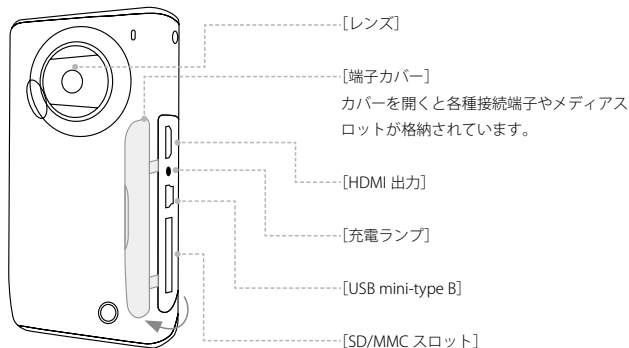
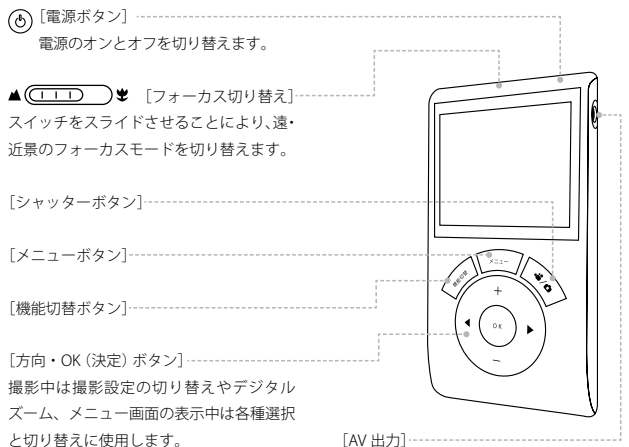
あらかじめご了承ください

- ・本書の内容、本製品の仕様・外観等は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡ください

(お問い合わせ先は付属の保証書をご覧ください)。

- ・本書の一部または全部を無断で複製することを禁止いたします。また、個人としてご利用になる他は著作権法上、当社に無断での使用はできません。
- ・本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきましても弊社では一切その責任を負えません。
- ・接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- ・地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- ・故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして弊社では一切の責任を負えません。
- ・購入日・購入店の記載の無い物、保証書に記載された内容に相違のある場合等、弊社では一切の責任を負えません。
- ・本製品は一般家庭での使用を目的に製造されています。特に業務用(店舗展示用や長時間連続使用等)に使用された場合や、一般家庭内でも過度に長時間連続で使用された場合は保証期間内であっても弊社保証の対象外となります。
- ・本製品は日本国内での使用を想定して製造されています。海外での使用はサポート及び保証の対象外とさせていただきます。

1. 各部名称



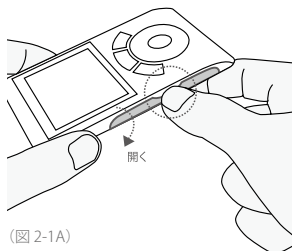
2. 撮影準備

メディアの接続やバッテリー充電、PC との接続や撮影前に設定する内容等をまとめてあります。特に、バッテリーの充電や日時設定等は注意が必要です。本書の案内に従い用法を守ってお使いください。

2-1. 端子カバーの開閉

端子カバーを開けると各種接続端子、及び SD/MMC スロットが格納されています。

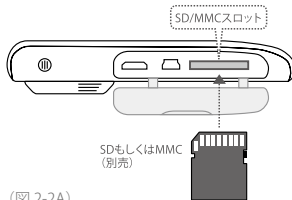
(図 2-1A) を参照してカバーの窪みに指をあてがい、開いてください。
閉じる時はカバー内側と本体側の凹凸を合わせてるように閉じてください。



(図 2-1A)

2-2. メディアの挿入

端子カバーを開け、SD もしくは MMC メディアを挿入します。図のようにカメラを側面から見た時に、メディアの端子面が上方を向くように挿入してください。スペースが狭いので爪の先等を使って「カチッ」と音がするまで押し込んでください。取り外す時は更に押し込むことでロックが解除され、メディアが飛び出します。



(図 2-2A)

[本体メモリへの保存] メディアが未挿入の時は本体メモリに静止画や動画を記録することができます。本体メモリへの撮影枚数と時間は条件により異なりますが、以下を目安としてください。12M 画質での静止画撮影時は約 9 枚、HD 画質での動画撮影時は約 30 秒です。撮影画質を下げることで撮影枚数と時間は多くなります。

2-3. バッテリーの充電

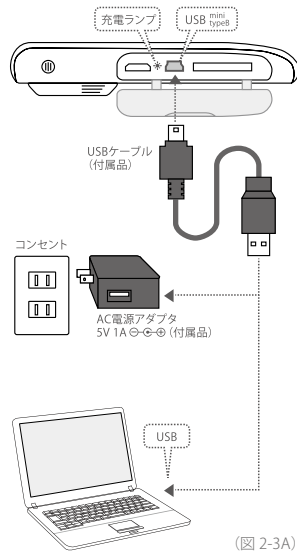
[電源の接続]

充電はカメラの電源をオフにした状態で行ないます。付属の USB ケーブルを使って、USB 端子と電源アダプタもしくは PC の USB 端子に接続すると充電が始まります。

[充電と撮影時間]

充電時は端子カバー内部の充電ランプが緑色に点灯します。充電に要する時間は約 110 分で、完了後に充電ランプが消灯します。

充電後、挿入メディアへの静止画撮影枚数は約 600 枚 (CIPA 準拠)、動画撮影時間は約 90 分となります。



(図 2-3A)

[充電に関する各種注意]

- ・充電はカメラの電源をオフにした状態で行ないます。PC 接続時にカメラの電源がオンになっていると充電が行なわれません。また、PC 起動時に限り電源供給が可能です。PC 電源がオフまたは休止状態になっていると、バッテリーの充電は行われません。
- ・充電完了後は電源アダプタ、および PC との接続を解除してください。つないだままにすると過度な充電が行われ大変危険ですのでお止めください。
- ・充電所要時間は目安です。充電ランプが消灯したら接続を解除してください。

[撮影枚数と時間]

記載の撮影枚数と時間は目安です。撮影条件や頻度、方法 (設定やメディア容量等) によっても異なります。また、バッテリーは消耗品です。使用を続けることで劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

2-4. 現在日時の設定

撮影開始前に現在日時を設定してください。日時設定を行わないと撮影画像の作成日時を正しく記録することができません。

【電源を入れる】

電源ボタンを押して電源をオンにします。

【設定メニュー画面を表示させる】

メニューボタンを押してメニュー画面を表示させます。右方向ボタンを押すと上部アイコン選択が切り替わり「設定メニュー」画面が表示されます（図 2-4A）。

【日/時刻設定画面を表示させる】

下方向ボタンを押し画面をスクロールさせます。「日/時刻」項目を選択後（図 2-4B）、OK ボタンを押すと「日/時刻設定画面」が表示されます（図 2-4C）。

【画面表示】

(1行目):月/日/年が表示されています。
(2行目):時/分/秒が表示されています。
(3行目):MM月/DD日/YY年の並びを変更することができます。
(橙色の背景):選択状態を表します。

【ボタン操作】

(左右方向ボタン):選択項目を切り替えます。
(上下方向ボタン):選択中項目の数値を変更します。
(OK ボタン):日時設定完了後に押すと、設定が確定されます。



(図 2-4A)



(図 2-4B)



(図 2-4C)

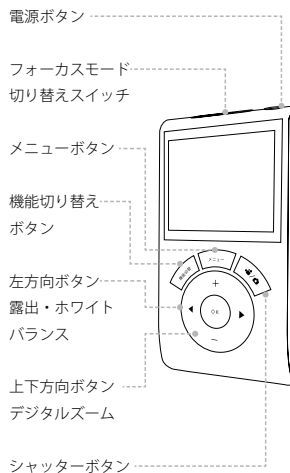
【補足】設定後は狂いが無いかを定期的に見直してください。また、バッテリーを使い切った時には再度日時設定が必要です。

3. 動画の撮影

動画の撮影についてご紹介します。前半は一般的な撮影方法を、後半では動画撮影に関する各種設定について記載をしています。

3-1. 動画の撮影

【動画撮影時、主に使用するボタンの配置】
動画撮影時に使用する主なボタン配置を以下にご紹介します。



(図 3-1A)

【電源のオン/オフ】

◎ 電源ボタンを押して電源がオンになると液晶画面が点灯し、動画撮影モードが立ち上がります（図 3-1C）。

【撮影する】

画面を見ながら構図を決め、シャッターボタンを押すと動画撮影が開始されます。撮影中にシャッターボタンを押すことで動画撮影が終了されます。

【デジタルズーム】

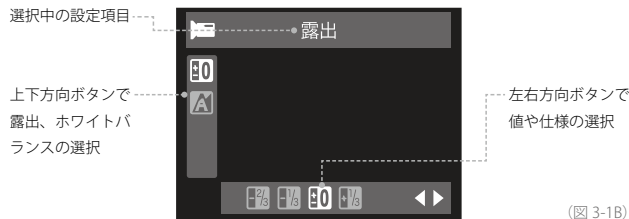
撮影中に上下方向ボタンを押すことでデジタルズームの倍率が切り替わります。

【フォーカス切り替え】

本体上部のフォーカス切り替えスイッチを左右にスライドさせることで、近景（撮影範囲 30cm へ）と遠景（撮影範囲 1m へ）のフォーカスモードを切り替えます。

【露出・ホワイトバランス】

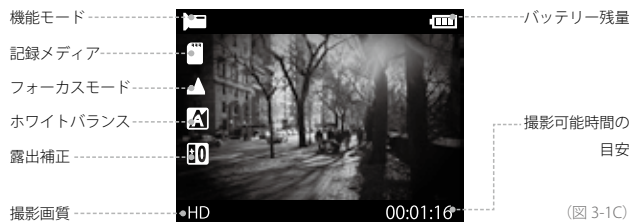
撮影中に左方向ボタンを押すと露出・ホワイトバランス設定画面が表示されます（図 3-1B）。画面内では上下方向ボタンで設定項目を選択後、左右方向ボタンで値や仕様を選択し、OK ボタンを押すと設定が切り替わります。



(図 3-1B)

〔動画撮影時の画面表示〕

撮影画面には各種アイコンが表示され、これらは現在設定されている撮影状態を示しています。



(図 3-1C)

〔補足〕 撮影可能時間は挿入メディア容量に対する記録可能時間の目安となります。

〔撮影した動画を確認する〕

機能切り替えボタンを押す毎に動画撮影→静止画撮影→再生画面の本体機能が切り替わります。動画撮影モードからボタンを2回押すと再生画面が表示されます。再生画面では左右方向ボタンでデータ選択後、OK ボタンを押すと選択した動画の再

生が始まります。動画再生中はOK ボタンを押すことで一時停止と再開、一時停止中に左方向ボタンを押すことで停止し、データ選択画面に戻ります。再生中に左右方向ボタンを長く押すと早送りと巻き戻し、上下方向ボタンで音量調節を行います。

3-2. 動画撮影に関する設定

動画メニュー

〔メニュー画面の表示〕

メニューボタンを押す毎に各種設定が行なえるメニュー画面の表示と非表示が切り替わります (図 3-2A)。メニュー画面は選択中の機能モードにより表示される内容が異なります。「動画メニュー、静止画像メニュー、設定メニュー、再生モードメニュー」の計4種のメニュー画面が存在し、現在設定可能なメニューのアイコンが最上段に表示されません (図 3-2A ①)。

〔メニュー画面内の操作〕

メニュー画面内の主な操作をご紹介します。下記と図 3-2A・B 内の番号表示を照らし合わせてご確認ください。

- ①メニュー画面内では選択中の項目がオレンジ色に反転して表示されます。上部のメニューアイコンから設定したい項目を左右方向ボタンで選択します。
- ②設定したい項目をメニュー一覧より上下方向ボタンで選択後、OK ボタンを押します。
- ③変更可能な仕様一覧が表示されます (図 3-2B)。上下方向ボタンで選択後、OK ボタンを押すと仕様切り替わります。
- ④設定が終わったらメニューボタンを押してメニュー画面を閉じます。



(図 3-2A)



(図 3-2B)

…以上がメニュー画面の主な操作です。次ページより動画メニュー画面内の各種設定詳細をご紹介します。



〔動画メニュー〕

動画メニュー内の各種設定をご紹介します。画面上部のメニューアイコンで動画（ビデオカメラのアイコン）が選ばれているのを確認してください。

〔解像度〕

撮影動画のサイズを設定します。

- ・ HD (1280 × 720pixel)
- ・ WVGA (848 × 480pixel)
- ・ VGA (640 × 480pixel)

〔露出〕

撮影動画の露出を設定します。+方向に設定すると明るい動画に、-方向に設定すると暗い動画に仕上がります。

- ・ + 2.0 ・ + 5/3 ・ + 4/3 ・ + 1.0
- ・ + 2/3 ・ + 1/3 ・ + 0.0 ・ - 1/3
- ・ - 2/3 ・ - 1.0 ・ - 4/3 ・ - 5/3
- ・ - 2.0

〔ホワイトバランス〕

撮影環境の周辺光に合わせて仕上がり動画の色みを設定します。

- ・ オート ・ 晴天 ・ 曇天
- ・ 白熱電球 ・ 蛍光灯

〔カラー〕

カラーフィルタを設定し、撮影動画の色みを変更します。

- ・ カラー ・ 白黒 ・ セピア



(図 3-2C)



〔設定メニュー（動画）〕

続いて設定メニューについてをご紹介します。画面上部のメニューアイコンで設定（スパナのアイコン）が選ばれているのを確認してください。

〔言語〕

- ・ 英語 ・ ドイツ語
- ・ フランス語 ・ スペイン語
- ・ イタリア語 ・ ポルトガル語
- ・ 中国語（簡体） ・ 日本語
- ・ 中国語（繁体）

〔補足〕

本書はこちらで日本語が設定されている状態を想定して作成されています。その他の言語に対応する説明書の用意はありません。

〔フォーマット〕

全てのデータを削除します。メディアを選択後 OK ボタンを押すと確認画面が表示されます。フォーマットを選んで OK ボタンを押すとデータが削除されます（保護されたデータも含む）。

〔TV モード〕

テレビと接続する際にお持ちのテレビの TV 方式に合わせて設定します。

- ・ NTSC ・ PAL

日本で販売されているテレビでは主に NTSC 方式が採用されています。通常は NTSC を選択してください。



(図 3-2D)

〔周波数〕

お使いの地域の電源周波数に合わせて設定します。

- ・ 50Hz ・ 60Hz

〔補足〕

周波数の設定を誤ると撮影画像にノイズや荒れが生じ、綺麗に撮影することができません。特に蛍光灯下で顕著に現れますので撮影時にはご注意ください。

〔日 / 時刻〕

現在日時を設定します。撮影を始める前に必ず設定してください。操作の詳細は P8 をご確認ください。

〔オートパワー OFF〕

オフ以外を選ぶと、一定時間操作が無い時に電源を自動的にオフにします。

- ・ オフ ・ 1 分 ・ 3 分

〔電子音〕

各種操作音の出音と消音を切り替えます。

・オフ ・オン

〔デフォルト設定〕

本メニュー画面の設定を出荷時の状態に戻します。項目「デフォルト」を選択後、

OK ボタンを押して表示される確認画面で「フォーマット」を選び OK ボタンを押すと操作が実行されます。

〔バージョン〕

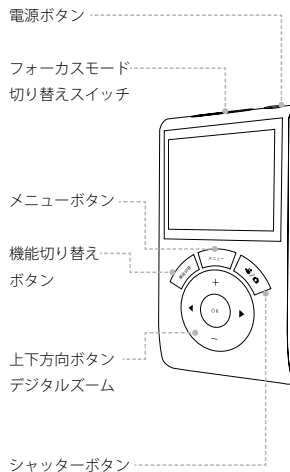
カメラのソフトウェアのバージョンをご確認頂けます。

4. 静止画の撮影

静止画の撮影についてご紹介します。前半は一般的な撮影方法を、後半では静止画撮影に関する各種設定について記載をしております。

4-1. 静止画の撮影

〔静止画撮影時、主に使用するボタンの配置〕
静止画撮影時に使用する主なボタン配置を図 4-1A にてご紹介します。



（図 4-1A）

〔電源のオン／オフ〕

Ⓢ 電源ボタンを押して電源がオンになると液晶画面が点灯し、動画撮影モードが立ち上がります。動画撮影モードから機能切替ボタンを 1 回押して本体機能を静止画撮影モードに変更します。

〔撮影する〕

画面を見ながら構図を決めシャッターボタンを押すと静止画が撮影されます。

〔デジタルズーム〕

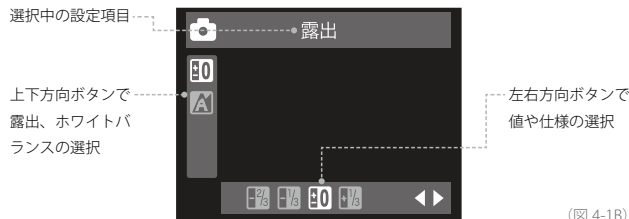
撮影中に上下方向ボタンを押すことでデジタルズームの倍率が切り替わります。

〔フォーカス切り替え〕

本体上部のフォーカス切り替えスイッチを左右にスライドさせることで、近景（撮影範囲 30cm ～）と遠景（撮影範囲 1m ～）のフォーカスモードを切り替えます。

〔露出・ホワイトバランス〕

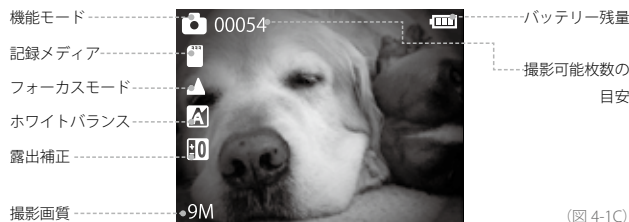
撮影中に左方向ボタンを押すと露出・ホワイトバランス設定画面が表示されます（図 4-1B）。画面内では上下方向ボタンで設定項目を選択後、左右方向ボタンで仕様を選択し、OK ボタンを押すと設定が切り替わります。



(図 4-1B)

〔静止画撮影時の画面表示〕

撮影画面には各種アイコンが表示され、これらは現在設定されている撮影状態を示しています。



(図 4-1C)

〔補足〕 撮影可能枚数は挿入メディア容量に対する記録可能枚数の目安となります。

〔撮影した静止画を確認する〕

機能切り替えボタンを押す毎に動画撮影→静止画撮影→再生画面の本体機能が切り替わります。静止画撮影モードからボタンを1回押すと再生画面が表示されます。

(表示画像の切り替え) 再生画面では左右

方向ボタンを押すと表示画像が切り替わります。

(拡大) 上下方向ボタンを押すと表示画像が拡大されます。拡大中に OK ボタンを押すと表示部が移動可能な状態となり、方向ボタンで表示領域を変更することができます。

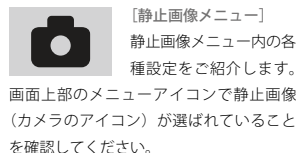
4-2. 静止画撮影に関する設定

静止画像メニュー

〔メニュー画面の表示〕

メニュー画面は選択中の機能モードにより表示される内容が異なります。静止画撮影モードが選ばれた状態で、メニューボタンを押す毎に各種設定が行なえるメニュー画面の表示と非表示が切り替わりま

す (図 4-2A)。



〔解像度〕

撮影静止画のサイズを設定します。

- ・ 12M (4,032 × 3,024pixel)
- ・ 9M (3,456 × 2,592pixel)
- ・ 5M (2,592 × 1,944pixel)
- ・ 3M (2,048 × 1,536pixel)
- ・ 1.3M (1,280 × 960pixel)
- ・ VGA (640 × 480pixel)

〔画質〕

撮影画質を選択します。画質を優先させるとデータサイズが大きくなり、画質を下げるとデータサイズも小さくなります。

- ・ スーパーファイン (データサイズ大)
- ・ ファイン
- ・ ノーマル (データサイズ小)



(図 4-2A)

〔露出〕

-2.0 ~ 0 ~ +2.0 の数値で露出補正を行ないます。+方向は明るい画像に、-方向は暗い画像に仕上がります。

〔測光〕

画面で捕らえた像のどの部分で測光するのかを設定します。

- ・ 平均測光
画面全体を対象として平均値を割り出し測光します。
- ・ 中央重点 (測光)
画面中央部に重点を置き、なおかつ全体の平均を加味しながら測光します。
- ・ スポット (測光)
画面中央部を集中的に測光します。

〔ホワイトバランス〕

撮影環境の周辺光に合わせて仕上がり画像の色みを設定します。

- ・ オート
- ・ 晴天
- ・ 曇天
- ・ 白熱電球
- ・ 蛍光灯

〔ISO〕

ISO 感度を設定します。ISO 感度を上げると暗所撮影時でもシャッタースピードを上げることができますが、撮影画像にノイズや荒れが生じます。

・オート ・50 ・100 ・200

〔カラー〕

カラーフィルタを設定し、画像撮影時の色みを変更します。

・カラー ・白黒 ・セピア

〔シーン〕

撮影シーンに合わせて選択することで各種設定をカメラが自動的に判断し、適正な設定に切り替わります。

・オート ・スポーツ ・人物
・風景 ・逆光 ・夜景

〔彩度〕

撮影時の彩度を設定します。

・低 ・ノーマル ・高

〔シャープネス〕

輪郭強調の度合いを設定します。

・ストロング (強) ・ノーマル (中) ・ソフト (弱)

〔クイックレビュー〕

撮影後のクイックプレビュー時間を設定します。

・オフ ・2 秒 ・5 秒

〔補足〕 オフを選択した場合でも撮影後のクイックプレビューは短時間表示されます。また、時間は目安です。

〔日付表示〕

オンを選ぶと撮影画像の右下に年／月／日の撮影日時が映り込みます。日付表示に映し込まれる撮影日時、及び年月日の並び順は「設定メニュー」画面内の「日／時刻」項目の設定に順じます。「日／時刻」の設定を済ませてからご使用ください。



〔設定メニュー（静止画）〕
続いて設定メニューについてご紹介します。画面

上部のメニューアイコンで設定（スパナのアイコン）が選ばれているのを確認してください。

〔セルフタイマー〕

オンを選ぶと、セルフタイマー撮影が行えます。セルフタイマー撮影時は、静止画撮影時にシャッターボタンを押した 10 秒後にシャッターが切られ、静止画が撮影されます。

「言語」以下の設定項目については動画撮影時の設定メニュー画面と同内容となります。操作の詳細は P13 をご参照ください。

5. 撮影データの確認

撮影した画像や動画データの確認方法をご紹介します。前半は再生機能モードでの各種操作を、後半では再生やデータ保管に関する各種設定について記載をしてあります。

5-1. 再生画面の表示

⑥ 電源ボタンを押して電源がオンになると液晶画面が点灯し、動画撮影モードが立ち上がります。動画撮影モードから 機能切替ボタンを 2 回押して本体機能を再生モードに切り替えると再生画面が表示されます。

〔再生画面の種類〕

表示される再生画面には大分類で次の 2 種が存在します。

- ・撮影した静止画の一面表示（図 5-1A）
- ・撮影した動画の一面表示（図 5-1B）

〔静止画の一面表示と操作〕

図 5-1A は撮影した静止画を再生画面で一面表示させた時の表示です。

この画面の表示中は以下のボタン操作が行えます。

- ・左右方向ボタン
次または前のデータを表示させます。

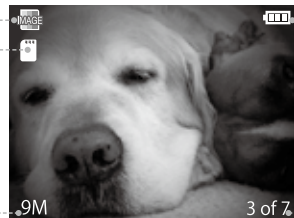
- ・上方向ボタン
上方向ボタンを押す毎に段階的に拡大表示されます。拡大表示中に OK ボタンを押すと画面の表示領域を方向ボタンを使って移動できるようになります。元に戻す時は再度 OK ボタンを押した後下方向を押して原寸に戻してください。

データ種類

図の記号はデータ種が静止画であることを示しています

読み込みメディア

撮影画像サイズ



（図 5-1A）

バッテリー残量

ファイル数

〔動画の一覧画面表示と操作〕

図 5-1B は動画撮影後の再生画面での表示です。画面内では次のボタン操作が行なえます。

- 左右方向ボタン
次または前のデータを表示させます。
- OK ボタン
表示中の動画データが再生されます。ページ内下段の〔動画再生中の操作〕をご覧ください。



(図 5-1B)

〔動画再生中の操作〕

- OK ボタン
再生、一時停止及び再開。一時停止中に左方向ボタンを押すことで再生が止まります。
- 方向ボタン
再生中に左右方向ボタンを長く押すことで早送りまたは巻き戻しが行なわれます。また、上下方向ボタンを押すことで、再生音量が調節されます。カメラ本体からの出力音は極小です。記録音声は PC にデータを転送後、もしくは接続 TV でご確認ください。



(図 5-1C)

5-2. 再生に関する設定

再生モードメニュー

〔メニュー画面の表示〕

メニュー画面は選択中の機能モードにより表示される内容が異なります。再生モードが選ばれた状態で、メニューボタンを押す毎に各種設定が行なえる再生モードメニュー画面の表示と非表示が切り替わります (図 5-2A)。



(図 5-2A)

もしくは動画を消去します。

〔メニュー画面内の操作〕

詳細は動画メニュー画面の紹介ページをご覧ください (P11)。



〔再生モードメニュー〕
画面上部のメニューアイコンで再生が選ばれているのを確認してください。

〔消去〕

撮影したデータを消去します。リストから「消去」を選び OK ボタンを押すと次の消去操作選択画面が表示されます。

- 全て
撮影した全ての静止画と動画が消去されます。
- いいえ
消去操作をキャンセルします。
- はい
再生モード画面で現在表示中の静止画、

左右方向ボタンで任意に選択後、OK ボタンを押してください。「はい」もしくは「いいえ」を選んだ場合は OK ボタンを押した直後に操作が実行されます。「全て」を選んで OK ボタンを押すと全コマ消去確認画面が表示されます。確認画面で「はい」を選んで OK ボタンを押すと全ての撮影データが消去されます。

〔保護〕

撮影データの上書きや消去が行なえないよう保護することができます。リストから「保護」を選んで OK ボタンを押すと、次の保護条件の選択画面が表示されます。

- 1 枚ロック
再生画面で表示中のデータを保護の対象とします。
- 1 枚ロック解除
再生画面で表示中のデータの保護を解除します。
- 全てロック
全データを対象に保護をします。

- ・ 全てロック解除
全データの保護を解除します。
任意に選択後に OK ボタンを押すと、操作
が実行されます。

【スライドショー】

撮影したデータ（静止画のみ）を設定時間
で順に切り替え表示させるスライドショー
再生を行います。

- ・ 2 秒 ・ 5 秒 ・ 8 秒

いずれかを選択後、OK ボタンを押すとス
ライドショーが開始されます。再生中に
OK ボタンを押すとスライドショーが終了
し、前の画面に戻ります。

【カードにコピー】

内蔵メモリ内の撮影画像を挿入した SD/
MMC メディアにコピーして保存します。
リストから「カードにコピー」を選択後、
OK ボタンを押すと操作確認画面が表示さ
れます。「全てのデータ」を選択後、OK ボ
タンを押すとコピーが始まります。コピー

には多少時間がかかりますので、終了まで
しばらくお待ちください。

【コピー操作の実行条件】

内蔵メモリに撮影した静止画もしくは
動画データが存在し、かつカメラ本体
に SD/MMC メディアが挿入されている
時に限りコピー操作が実行されます。



【設定メニュー（再生）】

再生機能モードでの設定メニュー画面につ
いては動画撮影時の設定メニュー画面と同
内容となります。操作の詳細は P13 をご
参照ください。

6.PC 接続とデータ保存

撮影したデータの PC への転送方法を紹
介します。

6-1.PC との接続

【端子カバーの開閉】

カメラ側面の端子カバーを開くと、USB 端
子（mini typeB）が格納されています（図
6-1A）。

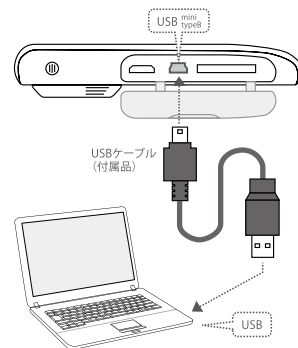
【PC との接続】

PC の電源をオンにしてください。続いて
付属の USB ケーブルを使って、カメラの
USB 端子と PC の USB 端子を接続すると充
電状態となります。この時にカメラの電源
ボタンを押して電源をオンにするとデータ
通信モードに切り替わります。

【PC 上の操作】

撮影したデータを PC に転送します。

- ① 接続完了後、「マイコンピュータ」に
ある「リムーバブルディスク」をダブル
クリックします。
- ② リムーバブルディスク内の「DCIM」フォ
ルダをダブルクリック後、内包されてい
るフォルダをダブルクリックし保存され
ている画像（動画）を選択します。
- ③ 画像（動画）が保存されているフォルダ
やファイルを PC 上にドラッグアンドド
ロップしてコピーします。



（図 6-1A）

- ④ コピーが終わりましたらタスクトレイ
の「ハードウェアの安全な取り外し」を
行ってください。無理に接続を解除する
とデータが破損するおそれがあります。

【動作環境、対応 OS】

- ・ Windows XP
- ・ Windows Vista
- ・ Windows 7

上記条件の全てのコンピューターでの
動作を保証するものではありません。

7. テレビとの接続

テレビやモニタに接続してカメラの液晶画面の表示を大画面に出力することができます。主に撮影画像を大きな画面で確認したい時等に便利な機能です。AV ケーブル（付属）、もしくは HDMI ケーブル（別売）を使った接続が可能です。

7-1. テレビとの AV 接続

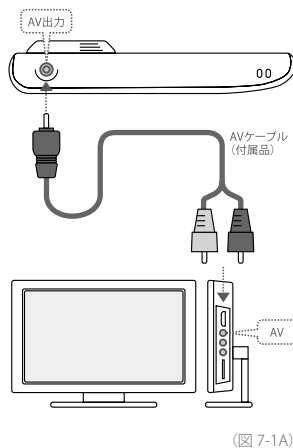
[接続]

付属の AV ケーブルを使って、カメラの AV 端子とテレビの対応する AV 入力端子を接続してください。続いてテレビの電源をオンにして、外部 AV 入力画面に切り替えてください。

[カメラ側の操作]

カメラの電源ボタンを押して電源をオンにしてください。撮影した画像をテレビに映し出すためには機能切替ボタンを押してカメラの機能モードを再生モードに切り替えてください。

再生画面での各種操作は P19 をご参照ください。



(図 7-1A)

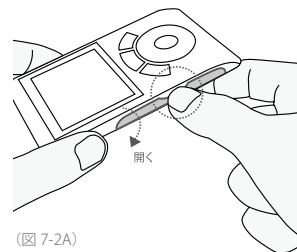
[補足]

テレビと接続し、AV 出力機能を使っている時はカメラ本体の液晶画面は非表示（消灯状態）となります。

7-2. テレビとの HDMI 接続

[端子カバーの開閉]

カメラ側面の端子カバーを開きます。図 7-2A 内、点線の囲みで示した部分に指を入れ、軽く持ち上げるとメディアスロットや HDMI 端子が格納されています。



(図 7-2A)

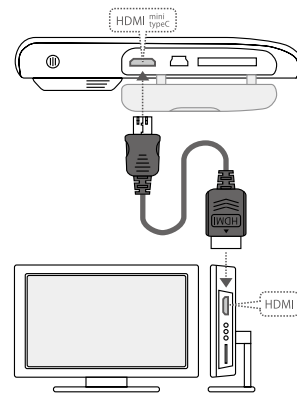
[接続]

接続には別途 HDMI ケーブルをご用意ください。HDMI ケーブルを使って、カメラの HDMI 端子とテレビの対応する HDMI 入力端子を接続してください（図 7-2B）。続いてテレビの電源をオンにして、外部 HDMI 入力画面に切り替えてください。

[カメラ側の操作]

カメラの電源ボタンを押して電源をオンにしてください。撮影した画像をテレビに映し出すためには機能切替ボタンを押してカメラの機能モードを再生モードに切り替えてください。

再生画面での各種操作は P18 をご参照ください。



(図 7-2B)

[補足]

- ・テレビと接続し、HDMI 出力機能を使っている時はカメラ本体の液晶画面は非表示（消灯状態）となります。
- ・HDMI ケーブルをお求めの際は近所のお店等にご相談ください。端子部が HDMI mini-typeC ～ HDMI typeA のケーブルをお選びください。
- ・HDMI 接続の場合はカメラ側で音量調節をすることができません。音量調節はテレビ側で行なってください。

8. 故障かな？ と思ったら

正常に動作しない場合はこちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因とその解決方法を確認することができます。巻頭に記載の注意書き、及び本項をお読みになっても問題が解決されない場合は保証書の内容をご確認の上で、弊社までご連絡ください。

本体が起動しない

- 本体の電源ボタンを押して、液晶画面の反応を確認してください。反応が無い場合はバッテリーの電池残量が少なくなっている可能性があります。

ボタン操作が効かない

- 重たいデータの処理中は読み込みに時間がかかります。この状態で操作を繰り返して行なうと、後で全ての操作が反映され思わぬ誤作動を起こす場合があります。操作はひとつずつ反応を見ながら行ってください。

撮影ができない

- 挿入メディアの上書き防止用ロックがなされていると撮影や上書きが行えません。

液晶に点が表示される

- ディスプレイは高度な技術で製造されていますが、常時点灯もしくは消灯するドットが存在することがあります。これらは故障ではありません。

表示が外国語になっている

- 設定メニュー画面「言語 / Language」で表示言語が切り替わります。

画面が暗くなる、電源が落ちる

- バッテリー残量が極端に少なくなると画面が暗くなったり、急に電源が落ちたりします。充電してからお使いください。
- 節電のために一定時間操作が無い場合に電源を自動的にオフにする機能が搭載されています。設定メニュー内の「オートパワー OFF」機能をご確認ください。
- テレビと接続して外部出力を行なっている時はカメラの液晶画面は消灯状態となります。

撮影日時がずれる

- 日/時刻設定はお済みですか？ 出荷時に日時設定は行われていないため、そのまま撮影を始めると画像作成日時が正しく保存されません。撮影を始める前に設定メニュー画面の日/時刻設定を行い、狂いが無いかを定期的に見直し、調整をしてください。また、ご購入時以外にも

バッテリーを完全使い切った時には再度日時の設定が必要です。

撮影枚数、時間が少ない

- 記載の撮影可能枚数と時間（本体メモリ、及び挿入メディア共に）は目安です。撮影条件や頻度、方法（操作や設定、撮影間隔）によっても大きく異なります。またバッテリーは消耗品です。使用を続けることで劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

充電時間が長い、短い

- 記載の充電所要時間は目安です。使用状況により異なります。充電ランプが消灯したら、速やかに電源の接続を解除してください。

充電ができない

- 配線は適切に行われていますか？ 接続を見直し、充電ランプの点灯を確認してください。
- PC から電源供給を行い充電する場合は、PC の電源がオフになっていると充電することができません。
- PC 接続時にカメラの電源を入れ、データ転送作業を行っている時は充電が行われません（充電ランプも消灯します）この場合は一旦 PC とのケーブル接続を外した後、再度接続してください。

ビントが合わない

- 被写体との距離は適切ですか？ 本製品は遠景で 1m、近景で 0.3m 以上離れた被写体にビントが合うようになっています。

ます。カメラ本体上部のフォーカス切り替えスイッチをスライドし、近遠景のフォーカスモードを切り替えた後に適切な距離を置いて撮影してください。

静止画撮影時、撮影画像がぶれる

- 室内や暗い場所での撮影はシャッタースピードが落ちて撮影画像がぶれる、ぼけやすくなります。カメラを両手でしっかり構えて撮影すると共に、静止画像メニュー内の ISO 項目で ISO 感度を上げてください。
- シャッターボタンを押した時に鳴る「カシッ」という音は操作受付音です。シャッターボタンを押した後、液晶画面上に撮影画像が一旦表示され、この段階で撮影が完了となります。撮影後の一旦表示を待たずにカメラを動かすと画像がぶれてしまいます。撮影は液晶の表示を確認しながら行なってください。
- 設定メニュー画面の周波数の設定が誤っていると、撮影画像にノイズが入ったり波打って見えたりします。使用場所に合わせて適切に設定してください。

画像の色みがおかしい

- 静止画像、及び動画メニュー画面内のホワイトバランス項目にて、撮影時の光源色に合わせた色調整が可能です。

撮影画像、音声が乱れる

- PC や家電製品からの電磁波や電波塔、高圧線等の影響で撮影画像や音声が乱れる場合があります。これらの干渉を受けない場所で正常な撮影が可能かをお試し

ください。

- 設定メニュー画面の周波数は正しく設定されていますか？ 設定を誤ると撮影画像が乱れます。特に蛍光灯下での動画撮影時に顕著にあらわれます。ご使用地域の電源周波数に合わせて設定してください。

画像が暗い、明るい

- 露出補正は適切ですか？ 撮影時、左方向ボタンを押すと露出設定画面が表示されます。☒ の表示が標準となりますのでご確認ください。

メニュー画面が表示できない

- メニューボタンを押して表示されるメニュー画面の内容は静止画撮影時・動画撮影時・再生時等、現在の機能モードにより異なります。

再生ができない

- 再生が可能なのは本製品で撮影した静止画、動画のみとなります。挿入メディア内に本機以外で撮影されたデータがある場合はその動作を保証することはできません。
- 動画再生中、カメラから出力されるのは極小音です。テレビに接続し、外部出力をすることで記録音声をご確認頂けます。

設定の初期化

- 不具合が出たり設定を見直したい時は、出荷時の状態に戻すことで改善される場合があります。設定メニュー画面「フォー

ルト設定」を実行してください。

直接挿入が可能なメディア

- 対応メディアはSD/MMCです。その他異物の挿入は端子部が破損したり、取り出しができなくなってしまう等、機器の不具合につながりますので絶対におやめください。

メディアやファイルの診断

- メディアやファイルが破損、もしくはウイルス感染していると正常な動作が行えない他、機器の不具合にも繋がります。PC上で定期的に診断やウイルスチェックをしてください。

PC接続後、PC上で認識ができない

- PC接続時は、カメラの通電状態によって次のような動作をとります。用途に合わせて電源のオンとオフを切り替えてください。
カメラの電源オン→充電動作
カメラの電源オン→PC通信動作

PC接続、初期化時のファイルシステム

- カメラとPCを接続した時や撮影後のメディアをPCに読み込ませた時に稀に一旦初期化してから使用するよう促す案内メッセージがPC画面に表示される場合があります。PC上で初期化（フォーマット）をする際にはファイルシステム項目で「FAT」を選択してください。その他のファイルシステムで初期化した場合、メディアが認識されなくなる等、正常に動作しなくなりますのでご注意ください

い。

起動時の機能モード

- 電源起動時は動画撮影モードで立ち上がります。前回使用時に静止画撮影や再生モードが選択されていたとしても、一旦電源をオフにして再度起動させた場合は動画撮影モードで立ち上がります。

撮影日時の映し込み

- 撮影画像上に撮影日時を映し込むことができます。静止画像メニュー内の日付表示から設定が可能です。この操作は撮影後の画像に対しては変更が効きません。大事な撮影の際には、カメラの日時設定が正確に行なわれているか、及び日付映し込みの有無をご確認ください。

接続したテレビから出力されない

- テレビ側の対応する端子に接続されているかをご確認ください。
- テレビの入力切り替えで、カメラを接続した入力端子が選択されているかをご確認ください。

接続したテレビ画面が白黒で下上に流れる

- テレビとの接続を一旦外してください。カメラの設定メニュー内、TVモードの設定でNTSCが選ばれているかを確認してください。

外観に関する補足

- 本製品のカメラ本体三脚穴は、その配置や向きにより対応可能な三脚が限られます。三脚をお求めの際はカメラ本体と三

脚を実際に取り付け、撮影可能な状態で使用できるかをご確認頂いた上でご購入ください。

- USB、及びSD/MMCスロット等を覆う端子カバーは乱暴に扱うと本体から外れてしまいますのでご注意ください。

操作音に関する補足

- 設定メニュー画面内の「電子音」項目にて操作音の有無を切り替えることができます。この他にも動画再生中の操作で本体音量を調節することが可能ですが、こちらで小音もしくはミュートの設定がされていると項目「電子音」でオンが選ばれている場合でも操作音は鳴りません。

データ保護に関する補足

- 再生モードメニュー内「保護」項目にて、データの上書きや消去を防ぐための保護設定が行えます。保護設定の有無はカメラの再生画面上には表示されません。PCにデータ転送後にご確認ください。
- フォーマット操作を行なうと挿入メディア、及び本体メモリ内の保護されたデータも消去されますのでご注意ください。

製品仕様

製品名	デジタルビデオカメラ
型番	DS-DV1200BK/SV/WH
本体色	BK：ブラック、SV：シルバー、WH：ホワイト
本体サイズ	62 × 115 × 22mm（横幅・高さ・奥行）約 90g（カードを含む）
有効画素数	1,200 万画素
静止画撮影	[拡張子.JPG] 解像度 12M (4,032 × 3,024pixel)、9M (3,456 × 2,592pixel) 5M (2,592 × 1,944pixel)、3M (2,048 × 1,536pixel) 1.3M (1,280 × 960pixel)、VGA (640 × 480pixel)
センサー、レンズ	1/3.2 型 CMOS、f=3mm F2.8
デジタルズーム	8 倍
撮影距離	1m ～∞（マクロ設定時 30cm ～）
撮影感度	ISO オート・50・100・200
露出補正	EV-2.0 ～ +2.0
記録シーン	オート、スポーツ、人物、風景、逆光、夜景
動画撮影	拡張子 .MOV、映像 AVC H.264、音声 32kHz（モノラル）、30fps サイズ HD (1,280 × 720pixel)、WVGA (848 × 480pixel) VGA (640 × 480pixel)
液晶モニター	2.4 型、11 万画素
電源・電力	電源アダプタ：5V 1A、消費電力：1.4W
バッテリー	電圧 3.7V、容量 700mAh 充電時間：約 110 分 静止画撮影枚数：約 600 枚（CIPA 準拠）、動画撮影時間：約 90 分
本体メモリ	静止画撮影：約 9 枚（12M 画質撮影時）、動画撮影：約 30 秒（HD 画質撮影時）
入出力端子	入力：SD・MMC スロット / mini-USB（typeB-5pin） 出力：映像・音声、HDMI
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

製品の仕様は予告無く変更することがあります。また、上記仕様表記と合わせて本書中に記載の注意や解説をお読み頂き、用法を守って正しくお使いください。

お問い合わせ

製造元：株式会社ゾックス

〒 231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13 TK 関内プラザ 304

電話：0120 - 602 - 302 ホームページ：http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。